

第72回 国民体育大会陸上競技愛媛県選手の選考について

1 種別（種目）及び参加人員

（第72回えひめ国体要項より抜粋）

(1) 各都道府県は、監督2名、選手29名（男子選手19名以内、女子選手19名以内）計31名以内で編成し、種別、種目、参加数は下記のとおりとする。

監督、選手の兼任は1名とし、その場合は参加選手を30名とすることができる。

ア 男子（19名以内）

種別	種目	共通種目	
成年	100m、400m、800m、110mH、400mH、10000mW 走高跳、走幅跳、円盤投、やり投		4 × 1 0 0 m R
少年	A 100m、400m、5000m、400mH 棒高跳、走幅跳、ハンマー投（6Kg）、やり投	800m、 110mJrH（0.991m/9.14m）	
	B 100m、3000m、 走幅跳、砲丸投（5Kg）	5000mW、走高跳、 三段跳、円盤投（1.75Kg）	

イ 女子（19名以内）

種別	種目	共通種目	
成年	100m、400m、800m、5000m、100mH、5000mW 走高跳、棒高跳、三段跳、ハンマー投、やり投		4 × 1 0 0 m R
少年	A 100m、400m、3000m、400mH、 走幅跳	1500m、棒高跳 三段跳、円盤投（1Kg）	
	B 100m、800m、100mH（0.762m/8.5m） 走幅跳、砲丸投（4Kg）	やり投	

(2) 各都道府県の参加は、次の出場制限によるものとする。

ア 1種目1名、同一人の出場は2種目までとする。ただし、リレーは除く。

イ 都道府県主催の予選会に出場しなかった種目には出場できない。ただし、1種目の予選のみに出場し、その種目の代表選手となった者は、予選に出場しなかった他の1種目にも出場できる。

ウ リレーチームの編成は、男女とも成年、少年A、少年Bから各1名、残りの1名は成年、少年A、少年Bのいずれかの種別とし、合計8名で申込むこと。

なお、選手変更については、日本陸上競技連盟競技規則によるものとする。

エ リレーに出場する者は、予選会のどの種目であっても参加していれば出場できる。

オ 成年女子800mには、少年女子Aからもエントリーできる。ただし、各都道府県からエントリーできるのは、成年女子又は少年女子A、いずれかの1名のみとする。

カ 成年女子5000m競歩には、少年女子Aからもエントリーできる。ただし、各都道府県からエントリーできるのは、成年女子又は少年女子A、いずれかの1名のみとする。

キ 成年男子10000m競歩の出場者は、5000m競歩の予選を経た者でもよい。少年男子共通5000m競歩、成年女子5000m競歩の出場者は、3000m競歩の予選を経た者でもよい。

ク 成年女子走高跳には、少年女子Aからもエントリーできる。ただし、各都道府県からエントリーできるのは、成年女子又は少年女子A、いずれかの1名のみとする。

2 競技上の規程及び方法

2017 年度日本陸上競技連盟競技規則によるもののほか、次による。

- (1) 少年男子 A 400m ハードルの、ハードルの高さは 0.914m とする。
- (2) 少年男子 A ハンマー投のハンマーの重さは、6.0 k g とする。
- (3) 少年男子 A やり投のやりの重さは、800 g とする。
- (4) 少年男子 B 砲丸投の砲丸の重さは、5.0 k g とする。
- (5) 少年男子共通 110m ハードルの、ハードルの高さ／ハードル間は、0.991m／9.14m とする。
- (6) 少年男子共通円盤投の円盤の重さは、1.75 k g とする。
- (7) 少年女子 A 400m ハードルの、ハードルの高さは 0.762m とする。
- (8) 少年女子 B 100m ハードルの、ハードルの高さ／ハードル間は、0.762m／8.5m とする。
- (9) 少年女子 B 砲丸投の砲丸の重さは、4.0 k g とする。
- (10) 少年女子共通円盤投の円盤の重さは、1.0 k g とする。
- (11) 少年女子共通やり投のやりの重さは、600 g とする。

3 参加資格、所属都道府県及び選手の年齢基準

- (1) 監督・選手は、日本陸上競技連盟登録者であること。

- (2) 参加資格・所属都道府県

総則 5-(1)(2)に定めるもののほか、次による。

ア 日本国籍を有しない者〔出入国管理及び難民認定法に定める在留資格のうち、永住者（日本国との平和条約に基づき、日本国籍を離脱した者等の出入国管理に関する特例法に定める特別永住者を含む。）を除く〕については、学校教育法第 1 条に定める学校に在籍する生徒に限り、少年の種別に各都道府県、男女各 1 名以内で参加することができる。

イ 監督は、公益財団法人日本体育協会公認スポーツ指導者制度に基づく公認陸上競技コーチ、公認陸上競技上級コーチ（以上、J A A F 公認コーチ）、又は公認陸上競技指導員、公認陸上競技上級指導員（以上、J A A F 公認ジュニアコーチ）の資格を有する者とする。
なお、監督、選手兼任の場合も同様とする。

ウ ふるさと選手制度については、第 72 回国民体育大会実施要項総則 5（別記 1 を含む。）の規程による。

- (3) 選手の年齢制限

ア 成年の部に参加する競技者は、平成 11 年 4 月 1 日以前に生まれた者とする。

イ 少年 A の部に参加する競技者は、平成 11 年 4 月 2 日以降平成 13 年 4 月 1 日までに生まれた者とする。

ウ 少年 B の部に参加する競技者は、平成 13 年 4 月 2 日以降に生まれた者とする。
（ただし、中学生は、3 年生のみ参加できる。）

4 愛媛県代表選手の選考について

- (1) 愛媛県代表選手の選考については次ページの「選手選考基準」及び「標準記録」によるものとする。

- (2) 国体に参加する意志のある選手は、国体選考対象大会である、各地区選手権・愛媛選手権または第 1 回愛媛陸協強化記録会・県高校総体・国体記録挑戦会・中学通信・県中学総体の該当の種目に出場しなければならない。ただし、成年男子 10000m 競歩の出場者は、5000m 競歩の予選を経た者でもよい。少年男子共通 5000m 競歩、成年女子 5000m 競歩の出場者は、3000m 競歩の予選を経た者でもよい。

また、日本陸連から指定されている世界大会等の予選会免除対象大会に出場する選手については、この限りではない。

- (3) 国体に出場する意志があり、下記ア・イに該当する選手は、「国体選考選手調査票」を提出すること。「国体選考選手調査票」を期日までに提出していない選手は選考の対象とされない。
- (2)により予選会を免除されている選手についても同様に提出すること。
- ア 標準記録を突破した選手。
- イ 全種別において、B標準に近い記録を出した選手で強化委員会より書類の提出を求められた選手。

5 「国体選考選手調査票」提出要領

- (1) 提出先及び問い合わせ先
愛媛陸上競技協会 強化委員長 渡部 求
〔勤務先〕〒790-8521 松山市持田町 2-2-12 愛媛県立松山東高等学校
(e-mail)s32mwat4@yahoo.co.jp (TEL)089-943-0187 (携帯)090-8692-8173
- (2) 必要書類
愛媛陸上競技協会のホームページ <http://ehime-rikujyo.jp> の「大会情報」から「国体選考選手調査票」をダウンロードすること。
愛媛選手権までの結果による該当者は、愛媛選手権大会期間中に競技場1階ロビーに用紙を準備しておくので、その場で記入して提出すること。
- (3) 申込締切日
ア メールまたは郵送で提出する場合 平成29年8月4日(金) 必着
イ 提出期限を厳守すること。提出期限に遅れた場合は、選考の対象とされないので注意すること。

6 備考

愛媛県選考基準、国体参加資格、ふるさと制度等で不明な点は強化委員長（渡部）まで問い合わせること。

第 72 回 国民体育大会（愛媛） 愛媛県代表選手選考基準

1 選考の対象とする記録

- (1) 選考対象となる記録は、2017 年 1 月 1 日から 8 月 6 日までとする。ただし、種目の特性を考慮し 3000m 以上の長距離及び競歩種目については、2016 年 10 月 12 日から 2017 年 8 月 6 日までとする。
- (2) 1-(1)に定める期間内の、公認最高記録を対象とする。
- (3) 競歩はトラックレースの記録とし、ロードレースの記録は対象としない。

2 選考順序

(1) A・Bの標準記録の段階に分けて、下記①②の順に選考する。

- ① A 標準記録突破者
- ② B 標準記録突破者

[A 標準記録とは全国大会上位入賞レベル
B 標準記録とは全国大会決勝進出レベル]

(2) 上記までの選考で下記 a) ～ b) の場合は、以下の項目をもとに、強化委員会が推薦する「えひめ国体」で入賞できる可能性が高い選手を選考する。

a) 同種目に同じ段階の標準記録突破者が複数いる場合

- ① 成年は該当年のベスト記録によって選考する。
- ② 少年 A・少年共通では、標準記録突破者の中で、該当年のベスト記録により選考する。同ランクの場合は大会成績・記録等を総合的に判断し優劣をつける。
- ③ 少年 B・少年共通で中学生と高校生が同じランクになった場合は、該当年のベスト記録によって選考する。同記録の場合は審議する。

b) 2-(1)(2)で選考された選手が定数の 29 人を越える、または満たない場合

- ① 定数を越える場合は、A～Bの順で標準記録突破者の中から選考するとともに、同ランクで選考する場合は、該当年のベスト記録を、前年度の国体出場者ランキング及び平成 29 年度上半期 100 傑表で比較し、審議する。
- ② 定数に満たない場合は、該当年のベスト記録を、前年度の国体出場者ランキング及び平成 29 年度上半期 100 傑表で比較するとともに、リレー種目に参加するための種目を優先したうえで審議する。
- ③ 記録やランキングが同程度の場合は、「えひめ国体ターゲットエイジ選手」及び少年 B を優先する場合がある。

3 補足

- (1) 上記 2 の選考順序で上位でありながら辞退者が出た場合は、次点以降の選手が選考の対象とされる。
- (2) 国体に参加する意志のある選手は、国体選考対象大会である、各地区選手権・愛媛選手権大会・第 1 回愛媛陸協強化記録会・県高校総体・国体記録挑戦会・中学通信・県中学総体の該当の種目に出場しなければならない。
日本陸連から指定されている世界大会等の予選会免除対象大会に出場する選手については、この限りではない。
その他の出場制限については、「第 72 回 国民体育大会陸上競技愛媛県選手の選考について」を参照のこと。
- (3) 国体に出場する意志があり、下記①②に該当する選手は、指定の日時(平成 29 年 8 月 6 日)までに強化委員会に「国体選考選手調査票」を提出しなければならない。
 - ① A・B の標準記録を突破した選手
 - ② B 標準に近い記録を出した選手で強化委員会より書類の提出を求められた選手
- (4) A・B の標準記録は過去の国体出場者ランキング及び結果記録より強化委員会が設定する。
- (5) 国体選手選考は、第 55 回四国中学陸上競技大会 2 日目(8 月 6 日)後の強化委員会で推薦者を作成するとともに、理事会において決定する。
- (6) 最終決定後、故障等のため出場が困難になった場合は、選手変更を行うので必ず申し出なければならない。変更選手は強化委員会で原案を作成し理事会に承認を得る。(選手変更は本国体監督会議まで)

平成29年度 国民体育大会愛媛県代表選手標準記録

	男子					女子										
	成年	少年A	少年B	少年共通		成年	少年A	少年B	少年共通							
100m	A	10.40	A	10.60	A	10.90	A		A	11.85	A	12.00	A	12.15	A	
	B	10.50	B	10.70	B	11.00	B		B	12.00	B	12.15	B	12.25	B	
200m	A		A		A		A		A		A		A		A	
	B		B		B		B		B		B		B		B	
400m	A	46.90	A	47.70	A		A		A	54.70	A	55.40	A		A	
	B	47.10	B	48.10	B		B		B	55.00	B	55.70	B		B	
800m	A	1:49.80	A		A		A	1:53.00	A	2:08.00		A	2:11.50	A		
	B	1:50.70	B		B		B	1:54.00	B	2:10.00		B	2:14.00	B		
1500m	A		A		A		A		A		A		A		A	4:24.00
	B		B		B		B		B		B		B		B	4:27.00
3000m	A		A		A	8:40.00	A		A		A	9:20.00	A		A	
	B		B		B	8:45.00	B		B		B	9:25.00	B		B	
5000m	A		A	14:18.00	A		A		A	15:40.00	A		A		A	
	B		B	14:30.00	B		B		B	15:50.00	B		B		B	
10000m	A		A		A		A		A		A		A		A	
	B		B		B		B		B		B		B		B	
110mH 100mH	A	13.85	A		A		A	14.40(110mH) 14.00(110mJH)	A	13.60	A		A	14.20(14.60)	A	
	B	14.00	B		B		B	14.60(110mH) 14.20(110mJH)	B	13.75	B		B	14.50(14.90)	B	
400mH	A	50.50	A	51.50	A		A		A		A	59.50	A		A	
	B	50.75	B	52.25	B		B		B		B	60.00	B		B	
3000mSC	A		A		A		A		A		A		A		A	
	B		B		B		B		B		B		B		B	
5000mW	A		A		A		A	21:30.00	A	23:00.00		A		A		
	B		B		B		B	22:00.00	B	23:30.00		B		B		
10000mW	A	41:30.00 19:50.00 (5000mW)	A		A		A		A		A		A		A	
	B	42:30.00 20:25.00 (5000mW)	B		B		B		B		B		B		B	
走高跳	A	2m15	A		A		A	2m09	A	1m77		A		A		
	B	2m13	B		B		B	2m06	B	1m74		B		B		
棒高跳	A		A	4m90	A		A		A	4m00	A		A		A	3m55
	B		B	4m80	B		B		B	3m80	B		B		B	3m40
走幅跳	A	7m75	A	7m40	A	7m05	A		A		A	5m85	A	5m75	A	
	B	7m65	B	7m30	B	6m90	B		B		B	5m75	B	5m65	B	
三段跳	A		A		A		A	15m00	A	12m85	A		A		A	11m90
	B		B		B		B	14m85	B	12m70	B		B		B	11m75
砲丸投	A		A		A	16m50	A		A		A		A	13m00	A	
	B		B		B	15m50	B		B		B		B	12m00	B	
円盤投	A	52m00	A		A		A	45m50	A		A		A		A	42m00
	B	50m00	B		B		B	43m50	B		B		B		B	40m00
ハンマー投	A		A	59m00	A		A		A	55m00	A		A		A	
	B		B	57m00	B		B		B	52m50	B		B		B	
やり投	A	76m00	A	65m00	A		A		A	56m00	A		A		A	47m00
	B	72m00	B	62m50	B		B		B	52m00	B		B		B	45m00
400mR																

成年女子800m, 5000mWおよび走高跳には、少年女子Aからもエントリーできる。

国体選考 選手調査票

私は、2017 えひめ国体に出場する意志がありますので、下記のとおり選考のための資料を提出いたします。

本調査票は8月4日(金)までに、所定の提出先に期日厳守で郵送・FAX・メールで送付すること。

ふりがな 氏名			性別	男 ・ 女	
種別 (○印を)	成年 ・ 少年A ・ 少年B ・ 少年共通		登録番号 (ナンバーカード)		
種目					
今季公認ベスト記録 〔 該当年の公認記録のみ 追い風参考記録は不可 〕	風力 +・- m		(該当に○印を) 標準A突破 ・ 標準B突破 ・ 標準Bに近い記録		
	大会名	場所	期日 H27年 月 日		
選考対象大会への 参加予定 (該当に○印を)	1. 第1回愛媛陸協強化記録会に参加 2. 地区選手権に参加 3. 県高校総体に参加 4. 国体記録挑戦会に参加 5. 中学通信に参加 6. 県中学総体に参加 7. 愛媛選手権に参加 8. _____ 大会に参加するので免除される				
所属名			学年	年	
出身高校 (成年のみ)	高校 (愛媛県 ・ _____ 県)				
生年月日	19 _____ ・ 20 _____ / S ・ H _____	年	月	日	年齢 _____ 才
国体への参加実績 (該当に○印を)	1. 2015 和歌山国体に _____ 県から参加した。種目 _____ 2. 2016 岩手国体に _____ 県から参加した。種目 _____				
現住所 (成年・少年) 〔 成年は居住地 高校生は自宅 高校下宿生も自宅 〕	〒 _____ - _____ (マンション・アパート名 _____ 号室)				
連絡住所 (成年) 〔 8月下旬に 確実に 文書を受けられる住所 〕	〒 _____ - _____ (マンション・アパート名 _____ 号室)				
電話番号			携帯番号		
メールアドレス (成年のみ)	PC・携帯のどちらでも可。 国体申込時の連絡で使用します。				

愛媛選手権までの結果による該当者は、愛媛選手権大会期間中に競技場1階ロビーに用紙を準備しておきますので、その場で記入して提出すること。

国体に選考された選手は、8月下旬までに連絡をします。(中高生は所属長宛、一般・大学生は上記連絡住所)